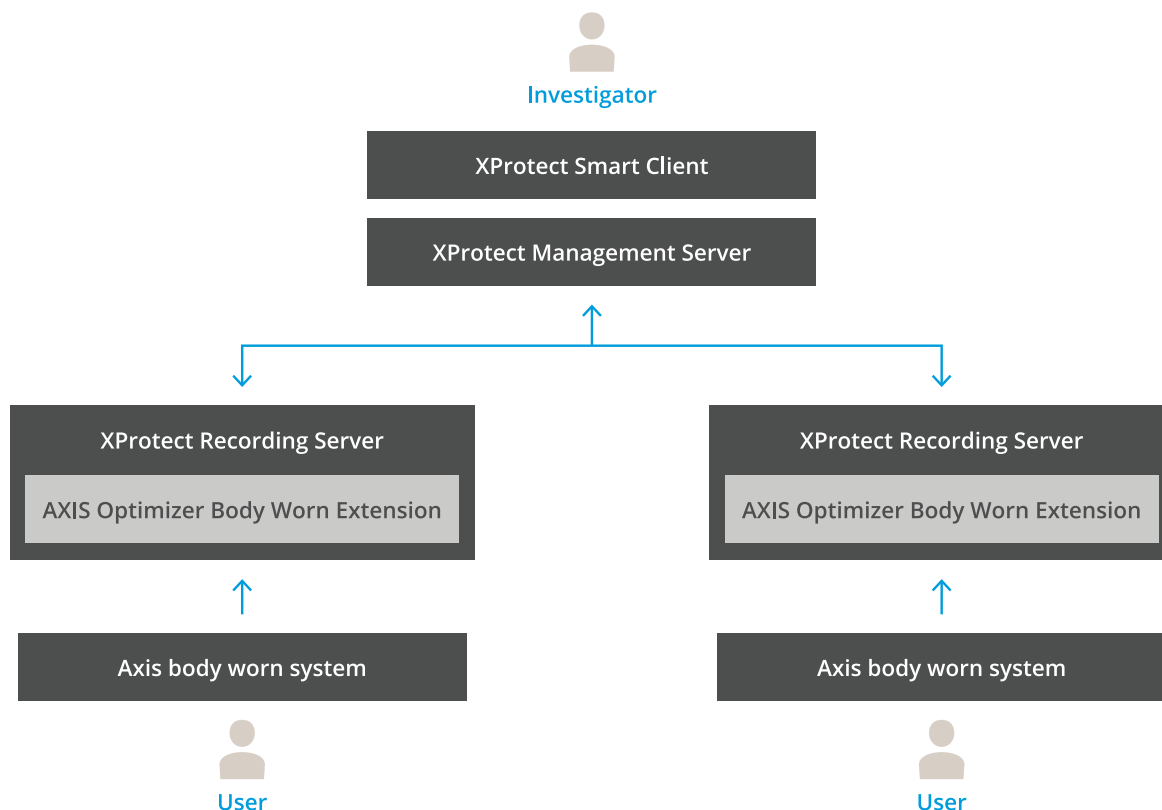


AXIS Optimizer Body Worn Extension

AXIS Optimizer Body Worn Extension

AXIS Optimizer Body Worn Extensionは、Axis装着式システムとMilestone XProtect®の接続を可能にするアプリケーションです。Axis装着式システムから転送されるデータには、映像、音声、検索可能な位置情報、カテゴリ、メモが含まれます。



仕組み

Axis装着式ソリューションは、少なくとも1台のAxis装着式カメラ、Axisドッキングステーション、Axisシステムコントローラー、コンテンツ送信先 (この場合はMilestone XProtect®) で構成されます。ソリューションには、AXIS Body Worn Live Self-hosted Serverデバイスを含めることもできます。AXIS Body Worn Managerは、装着式システムを設定して管理するWebアプリケーションです。

Axis装着式システムに新規ユーザーを追加すると、新規ユーザーに対応する新しいハードウェアがXProtect®に作成されます。装着式システムの各ユーザーは、XProtect®で1つのライセンスを使用します。

Axis body worn cameraをドッキングステーションに配置すると、録画の転送が自動的に開始されます。XProtect® Smart Clientで録画が表示されるには、しばらく時間がかかります。AXIS Body Worn Managerでファイル転送のステータスを監視することができます。

各録音の先頭にはブックマークがあります。XProtect®に表示されるブックマークには、次の情報が含まれています。

- カメラ名
- アクティブにする方法 (たとえば、ボタンを使用して録画を開始した場合や、落下検知によって開始された場合)
- 位置データ
- AXIS Body Worn Assistantで作成されたカテゴリとメモの注釈

システムモード

AXIS Optimizer Body Worn Extensionでは、Milestone XProtect®との接続を設定する際に、2つのシステムモードから選択できます。

ユーザー中心のシステムモード (推奨)

- Milestone XProtectでの各ハードウェア装置は装着式ユーザーを表します。
- 装着式システムの1ユーザーがMilestone XProtectでの1ライセンスになります。
- ユーザーレベルで権限を制御します。
- ユーザーに基づいて録画を検索します。
- Milestone XProtectでの構造に影響を与えることなく、装着式システム内の装着式カメラを追加、削除、または交換します。
- 装着式ユーザーを置き換えると、Milestone XProtectで新しいハードウェア装置になります。

装置中心のシステムモード

- Milestone XProtectでの各ハードウェア装置は装着式カメラを表します。
- 装着式システム内のカメラ1台がMilestone XProtectでの1ライセンスになります。
- カメラレベルで権限を制御します。
- メタデータやブックマークから録画に関連するユーザー情報を検索します。
- Milestone XProtectでの構造に影響を与えることなく、装着式ユーザーを追加または削除します。
- 装着式カメラを置き換えると、Milestone XProtectで新しいハードウェア装置になります。

注

システムを移行する場合は、現在使用している同じシステムモードを選択してください。

システム要件

- Milestone XProtect® 2020 R1 Corporate または新しいバージョン、または
- Milestone XProtect® 2020 R1 Professional + または新しいバージョン、または
- Milestone XProtect® 2020 R1 Expert または新しいバージョン
- Siemens Siveillance® 2020 R1 Video Pro、または
- Siemens Siveillance® 2020 R1 Video Advanced、または
- Siemens Siveillance® 2020 R1 Video Core Plus
- 10 GB以上の空きディスク容量。

重要

常に最新のXProtect Hotfixと累積パッチインストーラーをダウンロードし、適用する必要があります。

使用に当たって

1. .
2. .
3. .

AXIS Optimizer Body Worn Extension のインストール

1. Milestone XProtect® 録画サーバーを起動し、AxisOptimizerBodyWornExtensionSetup.exe を実行します。
2. セットアップウィザードの手順に従います。

注

- ポート 55771 で受信トラフィックを許可するため、インストール中にファイアウォールルールが録画サーバーに追加されます。
- インストール中に XProtect 録画サービスが再起動されます。

接続を設定する

1. タスクバーのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. **Open connection setup (接続設定を開く)** を選択します。
3. システムモードを選択します。詳細については、[こちら](#)を参照してください。後でシステムモードを変更するには、システム全体のリセットが必要です。
4. **[VMS connection (VSM接続)] > [Management server (管理サーバー)]** に、Milestone XProtect® Management Serverのアドレスを入力します。

注

Axis装着式システムとの接続を設定する際は、別のXProtect®管理者アカウントを使用することをお勧めします。

5. Milestone XProtect® 管理者アカウントがベーシックユーザーの場合、**[Windows authentication (Windows認証)]** をオフにします。
6. Milestone XProtect® 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
7. **Login (ログイン)** をクリックします。

注

- Axis装着式システムとの通信を保護するサーバー証明書を設定する必要があります。選択した証明書には、録画サーバーを識別する DNS 名または IP アドレスを含む、SAN (サブジェクト代替名) フィールドが含まれている必要があります。
- Windows Server 2012 R2を使用している場合は、手動で証明書を作成する必要があります。
- 8. 以下の手順に従って証明書を選択します。
 - マシンにインストール済みの証明書を使用するには、**[Certificate (証明書)]** をクリックして証明書を選択します。
 - 新しい証明書を作成するには、**[Create a self-signed certificate (自己署名証明書の作成)]** をクリックします。この証明書には、AXIS Optimizer Body Worn Extensionという名前が付けられ、**[Windows Security – Certificate selection (Windowsセキュリティ - 証明書の選択)] > [More choices]** にあります。

重要

- 接続ファイルには、データを自分のMilestone XProtect® システムにプッシュすることができ情報が含まれています。接続ファイルは安全な場所に保管することをお勧めします。

または、Axis装着式システムとMilestone XProtect®間の接続を設定した後、接続ファイルを恒久的に削除します。

- Axis装着式システムとMilestone XProtect®の間に安定した接続を維持するには、Milestone XProtect®録画サーバーのDNS名を使用することをお勧めします。
9. **Create connection file (接続ファイルの作成)** をクリックします。

Axis body worn systemに接続します

注

Axis body worn systemには、最新のファームウェアを使用してください。

1. Webブラウザを使用して、Axis body worn systemにアクセスします。
2. セットアップウィザードの手順に従います。
3. **コンテンツ送信先** ステップで、AXIS Optimizer Body Worn Extension によって生成された接続ファイルをアップロードします。

Axis body worn systemの設定と使用の詳細については、*Axis body worn*ソリューションヘルプセンターを参照してください。

システムの設定

保存期間

Milestone XProtect® で保存期間を変更する

録画が失われないようにするには、XProtect® で保存期間の値を大きくすることをお勧めします。

デフォルトの保存期間 7 日を使用すると、装着式カメラから XProtect® にアップロードされた録画は 7 日を経過するとすべて完全に削除されます。

カテゴリによる保存期間の制御

AXIS Body Worn Assistant (分類と注釈を記録するためのモバイルアプリケーション) で、ビデオのカテゴリを追加できます。AXIS Optimizer Body Worn Extensionで、カテゴリの保存期間を指定できます。これにより、Milestone XProtect® Smart Clientのカテゴリに関する [Evidence Lock (証拠ロック)] が生成されます。

カテゴリの保存期間を設定するには:

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. [Settings (設定)] を選択します。
3. 既存のカテゴリの [Retention time (days) (保持期間 (日))] を入力するか、または
4. [+] をクリックして新しいカテゴリを追加し、ドロップダウンからカテゴリを選択して、追加したカテゴリの [Retention time (days) (保存期間 (日))] を入力します。

注

- 保存期間は、録画が作成されてから自動的に削除されるまでの期間です。
- AXIS Optimizer Body Worn Extensionで設定された保存期間により、最短保存期間が保証されます。XProtect®の録画サーバーまたは装置のストレージ設定で、より高い値に設定している場合は、より長くなることがあります。
- [Retention time (days) (保存期間 (日))] を [<default (デフォルト)>] に設定されたままにすると、[Evidence Lock (証拠ロック)] は作成されません。
- 保存期間の設定には証拠ロックのサポートが必要です。これは、XProtect® Corporate and Siveillance® Video Proでのみサポートされます。この設定は他の製品には使用できません。

AXIS Body Worn Live Self-hostedに接続する

開始する前に

AXIS Body Worn Live Self-hostedを設定し、使用を開始するの手順に従って装着式システムに接続します。

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. Open connection setup (接続設定を開く) を選択します。
3. AXIS Body Worn Live Self-hosted Serverで、Live Self-hosted Serverデバイスのアドレス、ユーザー名、パスワードを入力します。
4. [接続] をクリックします。

ライブストリームを録画する

ライブストリームを録画すると、カメラがドッキングされて録画がアップロードされるまで待つことなく、すぐに録画にアクセスすることができます。VMSでカメラの録画がオンになっていることを確認してください。ライブストリームが常に録画されるようにルールを設定することをお勧めします。

ライブストリームの開始時にイベントをトリガーする

ライブストリームの開始を既定イベントとしてルールまたはアラーム定義を作成できるようにするには、以下の手順に従います。

1. Management Clientで **[Site Navigation (サイトナビゲーション)] > [Recording Servers (録音サーバー)]** に移動し、カメラを選択します。
2. **[Events] (イベント)** タブに移動します。
3. **[追加]** をクリックします。
4. **[Live Stream Started (ライブストリーム開始)]** を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

注

ルールを作成するときに **[Live Stream Started (ライブストリーム開始)]** が表示されない場合は、Milestone XProtect®で **[Updated hardware (ハードウェアの更新)]** 操作を実行することができます。

破損した録画を自動的にオフロードする

カメラに問題があり、録画のタイムスタンプが破損している場合は、ファイルをMilestone XProtect®にオフロードすることが難しい場合があります。このような録画を録画サーバー上のフォルダーに自動的にオフロードするようにシステムを設定することができます。ファイルがフォルダーにオフロードされるたびに、VMSでアラームが発生します。

破損した録画の自動オフロードを設定するには、次の通りにします。

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. **[Settings (設定)]** を選択します。
3. **[Corrupt recordings (破損した録画)]** で、**[Automatically offload corrupt recordings (破損した録画を自動的にオフロード)]** をオンにします。
4. ファイルを保存する場所を選択します。
5. ファイルを保存する日数を選択します。

メンテナンス

システムからユーザーを削除する

1. AXIS Body Worn Manager でユーザーを削除します。

注

ユーザー デバイスが XProtect で無効になり、チャンネル ライセンスがリリースされます。ユーザーが録画を表示することはできなくなりますが、録画はそのまま残ります。これらにアクセスするには、デバイスを有効にします。

2. ユーザーが作成した録画が不要になった場合は、デバイスを XProtect® で削除してください。

重要

XProtect®で有効になっているデバイスは絶対に削除しないでください。必ず最初にAXIS Body Worn Managerから削除してください。

新しい自己署名証明書の作成

新しい自己署名証明書の作成します。

1. タスクバーのアプリケーション アイコン  を右クリックします。
2. **Open connection setup (接続設定を開く)** を選択します。
3. 現在の証明書で、**[証明書のバインド✕をリセットする]** をクリックします。
4. **[Remove current self-signed certificate (現在の自己署名証明書の削除)]** をクリックします。
5. **[Create a new self-signed certificate (新しい自己署名証明書の作成)]** をクリックします。
6. 新しい証明書を選択する。

新しいサーバーへの移行

1. 装着式システムからユーザーをエクスポートするには、ユーザーのエクスポートを参照してください。
2. 古いサーバーと同じシステムモードを使用して、新しいMilestone XProtect録画サーバーにAXIS Optimizer Body Worn Extensionをインストールします。詳細については、を参照してください。
3. カメラハードウェアオブジェクトを古いMilestone録画サーバーから新しいMilestone録画サーバーに移動します。
4. 新しいMilestone XProtect録画サーバーで新しい接続ファイルを作成するには、を参照してください。
5. AXIS Body Worn Managerで装着式システムに接続ファイルをアップロードします。

トラブルシューティング

システムに異常が発生すると、タスクバーのアプリケーションアイコン  が赤色で表示されます。多くの場合、これは特定の録画、ユーザー、またはカメラに問題があり、システムは他のすべての装着式ユーザーまたはカメラの録画を転送できることを意味します。

アプリケーションアイコン  を右クリックし、[Show error information (エラー情報を表示)] を選択すると、問題の詳細が表示されます。

Management Clientでは、すべてのハードウェアデバイスのステータスを確認できます。各ハードウェアデバイスは、装着式ユーザーまたは装着式カメラのいずれかを表し、カメラ1台、マイク1台、メタデータデバイス1台で構成されています。ステータスの詳細はメタデータデバイスには適用されません。エラーが発生していない限り、常に緑色です。ステータスの違いは、以下の通りです。

緑 - 正常。ライブストリームが作動中です。

黄色、ツールチップ「Connection is broken (接続が切断されました)」 - 正常。ライブストリームは作動していません。

黄色、ツールチップ「Invalid license (無効なライセンス)」 - 問題あり。VMSでライセンスの問題を解決してください。

青色/表示なし - 異常。VMSでデバイスのハードウェアに対して [Replace hardware (ハードウェア交換)] を実行し、デバイスを再起動してみてください。デバイスのステータスが変わらない場合は、サポートにお問い合わせください。

課題	現象	問題の原因と対処法
Axis system controllerに接続できません	AxisシステムコントローラーのWebインターフェースに「Connection failed (接続が失敗しました)」と表示されます。	- タスクバー アイコンをチェックして、AXIS Optimizer Body Worn Extension が実行されていることを確認してください。 - PCがAxis system controllerから到達可能であり、ポート 55771でトラフィックをブロックしているファイアウォールが存在しないことを確認してください
録画の転送エラー	- Milestone XProtectのアラームに「Recording transfer error (録画の転送エラー)」と表示されます。 - タスクバー アイコンが、何かが動作していないことを示しています。 - Smart Client で、録画またはブックマークが見つかりません。	- 録画が転送されるまでに時間がかかる場合があります。アラームがない場合は、待ちます。 - XProtect Management Clientを開きます - XProtect 録画サーバーが実行されていることを確認してください。 - Axis body worn装置が動作し、有効になっていることを確認してください。 - Axis body worn装置が有効なライセンスを持っていることを確認してください。

課題	現象	問題の原因と対処法
		Management Clientで、ハードウェアデバイスを右クリックし、[Replace Hardware (ハードウェアの交換)]を選択します。これによってデバイスは更新されますが、削除はされません。
録画が不完全です	録画の一部が Smart Client ではありません。	録画はチャンク単位で転送されますが、必ずしも時系列順ではありません。転送の最後のステップとして、録画の先頭にブックマークが作成されます。ブックマークが検出されない場合、転送がまだ完了していない可能性があります。転送が完了するまで待ちます。
録画が見つかりません	Smart Client でブックマークは表示されますが、録画はありません。	- XProtect 録画サーバーの録画およびアーカイブ設定を確認してください。転送された録画が保存期間よりも古い場合、転送時に直接削除されます。 - AXIS Optimizer Body Worn Extensionの [Settings (設定)] で、さまざまなカテゴリに設定された保存期間を確認してください。 - XProtect 録画サーバーで使用されているストレージの空き容量を確認します。ディスクの空き容量が 5 GB 未満の場合は、自動アーカイブが開始されます。これにより、保存期間やサイズに関わらず、録画が失われる可能性があります。
Milestone XProtect®で位置情報の検索結果はありません	バージョン1.0で追加されたユーザーの位置情報は検索できません。	バージョン1.1以上にアップグレードし、Body worn systemで新規にユーザーを作成します。
	Body worn systemで位置情報が有効になっていないため、GPS座標が、Milestone XProtect®のブックマーク上に表示されません。	位置情報を有効にして使用する方法については、 <i>Body worn solution</i> ユーザーマニュアルを参照してください。
Body worn systemとMilestone XProtect®の間の接続が失われました®	Milestone XProtect®録画サーバーのIPが変更されました。	- Optimizer Body Worn Extensionに新しいWindows証明書を手動で作成して選択します、詳細については - AXIS Optimizer Body Worn Extensionで新規の接続ファイ

課題	現象	問題の原因と対処法
		ルを作成します、詳細についてはを確認してください。 3. AXIS Body Worn Managerに新しい接続ファイルをアップロードします。
破損した録画が検出されました	Milestone XProtectのエラーメッセージに「Corrupt recording detected (破損した録画が検出されました)」と表示されます。	破損した録画は、録画サーバー上の別のフォルダーに自動的にオフロードするようにシステムを設定します。手順については、を参照してください。
元のライブ録画がありません		カメラをドッキングした後、録画がMilestoneにアップロードされると、元のライブ録画はSmart Clientに表示されなくなります。元のライブ録画を表示またはエクスポートするには、以下の手順に従ってください (Milestone XProtect® 2023 R2以降でのみ利用できます)。 1. Management Clientで、[Site Navigation (サイトナビゲーション)] > [Recording Servers (録音サーバー)] に移動し、カメラを選択します。 2. [Streams] (ストリーム) タブに移動します。 3. [Use edge recordings (エッジ録音を使用)] の選択を外します。 4. 変更を有効にするには、Smart Clientを再起動します。 5. ライブ録画が不要になったら、[Use edge recording (エッジ録画を使用)] を再度選択します。

注

問題を解決した後、録画が転送され、タスクバー アイコンが緑色になるまで時間がかかる場合があります。転送速度を上げるには、システム コントローラーを再起動します。

さらに支援が必要ですか？

サポートに問い合わせる

さらにサポートが必要な場合は、axis.com/support/にアクセスしてください。

簡単な対処法を見つけるには、ログを入力します。ログを取得するには:

1. タスクバーのアプリケーション アイコンを右クリックします。
2. **Save logs (ログを保存)** を選択します。

T10149228_ja

2025-07 (M11.2)

© 2020 – 2025 Axis Communications AB